

パリの女性

えと文
③ 鴨居 玲



目の玉の飛び出た話

「あの野郎」と私は週刊誌を開いてうなつた。パリで私の遊びの相棒N君こと「タツつあん」が某映画女優と婚約し帰国したからだ。先日上京した折、その女優さん交えて酒を飲んだが、撮影の疲れかソットあくびを噛み殺し乍らも、自分の婚約者に一生懸命努めている姿に打たれて改めて心から二人を祝福した。

しかし、私にだってそれらしい想い出があることはある。この頃フランス映画をみる度に時々出て

来る女優さんについてだ。だが私が彼女を知った時はまだみずぽらしいモデルであった。

三人目のモデルとして現れたのがコハク色の肌をし生き生きとした混血娘―父はイタリー母はタヒチの彼女だった。白いモデルに飽きが来ていた折でもあったのでその娘を永く使うようになった。モデルをし乍ら歌と踊りの勉強をしている様子で、親しくなるに従い端役で出た舞台写真等を見せてくれ自然と情の移るのも致し方ないことで……。ところである日突然私は彼女に爆発的な勢いで目の玉

に吸いつかれた。何事が起ったかと面くらった私は、正直なところこれが本当の目の玉の飛び出るような気持というのであろうかと思う暇もない程「飛び出る」ような目に会わせられた。彼女が何も目標を定めたのでなく、イタリー流かタヒチ流かの愛情の表現で体臭のきついのを除けばこの「飛び出る」気持も満更でわなない。初めての国際的親善にすっかり慌てたか、或はいじらしく思ったのかよく分らないが、はめていた腕時計を彼女に渡してしまった。外国で時計のないのも不自由なもので私は日本の姉に「時計こわれたすぐ送れ」と手紙を書いた。「国産はやはりすぐコワれるんやなあ」との返事と共に時計がついたが、誠に申し訳けない、国産は大丈夫優秀であります。

さて、「このイタリー流、タヒチ流の奥儀はだ……」と例の私の友人M氏にふと一言洩らしてふつり話題を変えてからというもの酒や肴を盛んに手のかえ品をかえてナゾをかけて来るが、彼の自尊心が許さないのか、自発的な私の告白だけに期待しているようである。その様子が退屈なこの頃の私には楽しみでもあり、収入のない身に誠に良い内職でもあるので今年中は専らこの手で押そうと思う。沈黙というのは人間をさも立派らしく見せてくれたりその他種々の効果を持つ様で、誠に便利な武器なので、このあたりで私も筆を止めることに致します。

(画家)

☆ ☆ ☆

神戸うまいもの地図

うまいもの店
ごあんない

グ
リ
ル

ブ
ー
ン

ト
ア
・
ロ
ー
ド
TEL ③ 1514

英国式バー・レストラン

キングスアームス

市庁舎向い浜側
TEL ② 3774

グ
リ
ル

コウベステーク

阪急三宮山側
TEL ③ 2581

ロ
シ
ヤ
料
理

バラライカ

生田筋東入る
TEL ③ 7919

ス
ペ
イン
料
理

カルメン

三宮阪急西口「寿」北上る
小宴会承り ③ 2228

江
戸
前

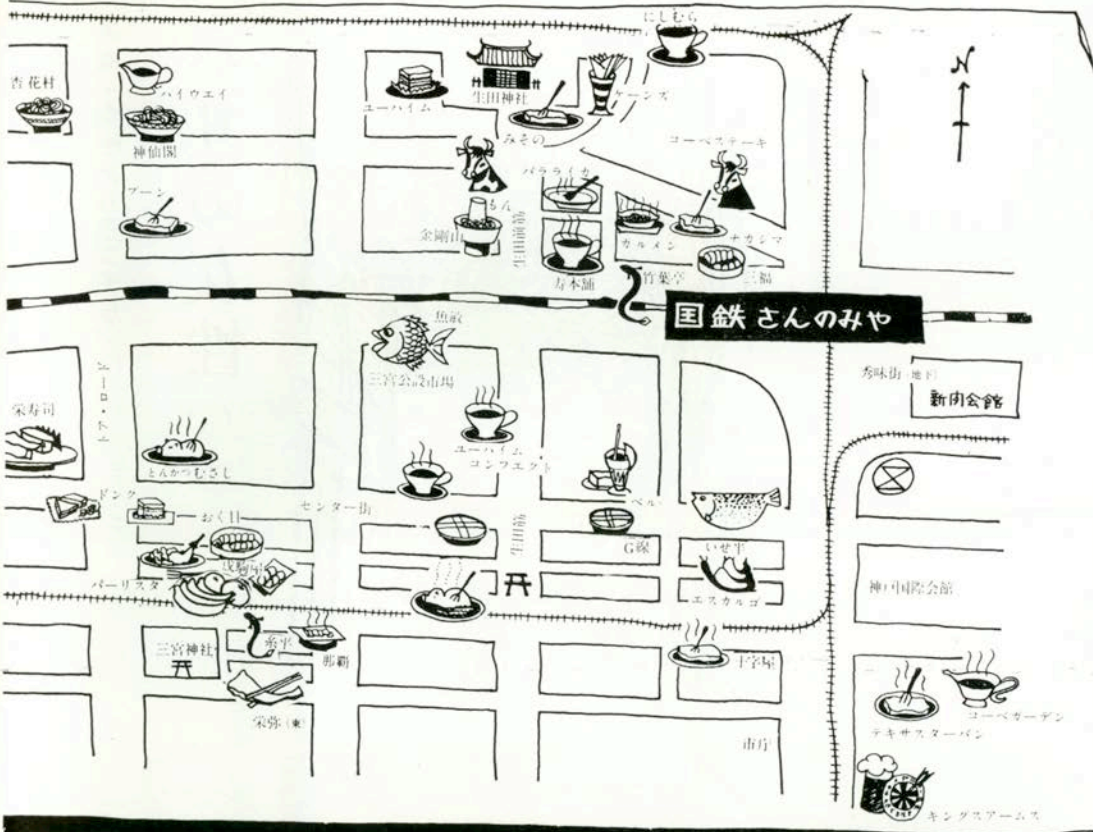
栄
壽
司

三宮三・柳筋
TEL ③ 0069

と
ん
か
つ

武
藏

三宮センター街
TEL ③ 2296



井上昌子
(家事手伝い)

めつたに外出することのない私ですが、それでも月一度は神戸へおけい古こでも出た時に必ずといっていいほど立ち寄るのは、神戸新聞会館地下にあるきしめんのお店「蔵」。国鉄三宮駅側から入って右側二軒目にあるこの店は、店内に大きな鏡がはめ込んであり、カウンタース式の八人（？）がけとテーブルが四、五組ほどあり、注文すれば、「きしめん」をハカケリにかけ手きわよく仕あげてくれますが、なにより食事時は、近くのサラーマンやB・Gで満員。これから寒さの厳しい間は、よほど上手にあい間を見ていかないと

とアブレそうですからご注意下さい。すいせん株はナベ焼ききしめんです。約二十センチ正方の鉄ナベに入っていて、ネギ、カシワ、カマボコ、タマゴなどがきれいに並べられており、フウフウいいながら食べる「きしめん」の味は格別です。値段はたしか百二十円。かわいい木のスプーンがそえてあります。全体にこの店はダシ加減が上手で、他のきつね、たまごとし、金びら、かしわなどのきしめんもおいしいと好評です。量的にはボリューミー党ではありませんが……。サービスの方もたて込んでくるとあまり期待されないように何しろ場所がよすぎるのですよね。



三

TEL ③ 2456 三宮阪急東山側

ステーキ

み
そ
の

神戶生田神社前
東京田村町3

西洋料理
オイル
シヤブ、
シヤブ
焼

もん

ハナワグリル

元町5丁目

TEL (モダン寺高架浜側)
④六九四二・五九一九

朝鮮料理

金剛山

TEL代③ 5 5 6 1

バーベキュー

コーベガーデン

市役所前東入る
TEL ②② 4400

神戸一の総合レストラン

パウリスタ

TEL ③ 1362

鰻・蒲焼・日本料理

竹葉亭

TEL 三宮阪急西隣
③ 1140 1120

神戸うまいもん巡礼

赤尾 兜子

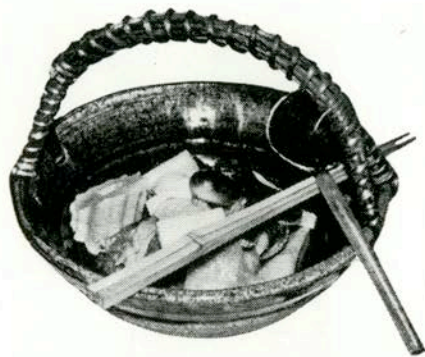
日本料理の巻

おでん屋の時計一時に垂(なんな)んと

誓 子

十二月になると、一年の押しつまったあわただしさもさることだが、肌をつく寒さと冷えこみに「おでん」と書いた提灯のほんのりした明るさがつい恋しくなる。そこへ足をふみこんでは、酒の酔いも手伝ってうかうかと興が乗り、さて帰る段になるともはや終電車もない午前一時、つまりこの句のような状況に記憶がある人も多からう。ところでおでんは、関東を発祥にして江戸時代からさかんだった。

こんにゃく、八頭(やつがしら)薩摩揚げ(さつまあげ)焼きとうふ、ちくわなどを醤油と砂糖で煮こんだもので、串にさして食べると相場がきまっていた。東京からこちらへやって来た友人が、よくその第一声で「かつこうなおでん屋はないか」という。実のところ即座に推薦できる店は、神戸には割にすくない。東京の人口比率



竹葉亭 おでん 2人前 300円

とおでん屋の数を調べてみたことはないが、すくなくとも神戸よりその比率は多かろうと思う。神戸ではその夜空にうかがふ提灯にしても、「おでん」の文字はめったになく、そのほとんどが「関東煮」・名前からして関東煮(だき)と称しているのだから、関東のものまねであることはもちろんである。

「おでん」を名乗っている店で、いいのは阪急三宮駅東口のそばの竹葉亭である。こんにゃく、とうふ、大根などはこちらの仕込みだが、自然薯から作るハンペン、白竹輪(ちくわ)は東京から取よせている。それにスジやロールキャベツ、フクロは自家製らしく、スジはハムぐらいのやわらかさ、フクロのなかには糸こんにゃくや銀杏もつめてあって、味が単調でないところがよい。ロールキャベツは、つめた中身からかなりの脂気を舌に感じさせる。おまけにやや残酷物語めくが、小ダコが煮つめられてかわいい姿で出てくる、その味は淡泊。こうしたタネの味を決めるコツはダンにあるわけで、こ



馴染のお客さんの多い「竹葉亭」 ほかほか暖い湯気、冬の味覚おでん

の店のそれはカツオブシと昆布で作る。ただ露店などがよくやる手——おなじダシを幾度も使って、色が変わってしまうほど煮つめ、いがくしてしまいうようなことは絶対にしない。ほんのりして、タネの味をそれぞれ生かしている。そこがよさでもある。一人前盛合せて百五十—二百円。夜ともなるとおでんをかこむ止り木は左党の常連で占められることが多いから、左党でない向は、一般席の方で、丹波立杭産の皿に盛ったおでんのいろいろにご飯をとって、食べるとよい。三百円ぐらい。昼食にも向く。

ついで筋が通っているのは主婦の店ダイエーがある通りを北上した西側にあるまめだ（生田区京町筋）である

うか。ちいさい店で、十数人も客がたてこむともう満員だが、三宮神社の境内からここに移って、神戸としてはちょっとしたジニセ。ほとんどのタネをそろえているが二つ四十円のシューマイのおでんは他店にない珍味。ダシはトリのガラ、カツオブシにサカナのだしをとりあわせているが、どちらかといえば庶民風、つまりその味をややきつぱりと濃く締めているのが特長といえよう。ちくわ、コンニャク十五—二十円からタコ三十一—五十円（時価）という値段。そのほか神戸には高田屋チェーンの各店や関東煮（だき）を表示した店はそれでもかなりあるが、あまり個性がない。東京から来て二代目を名のついていた赤ひょうたん（生田筋商店街）もどうしたわけか、洋風 Grill に転向してしまった。商売としては夏場はできない、一般の家庭でもそこそのものはできるといった事情がある料理だけに「おでん」の専門店で押しとおすのは、無理としても、関東より材料に恵まれた土地柄だけに、せめて秋から冬場に営業するもつと筋の通った店が生れてもよいのではないか。たしか邱永漢は「湯気をたてているおでんをみて、おいしそうだと思っただが、食べてみると案外で、失望した」と書いていたことがあったが、中国風の複雑な味覚にまではいたらずとも、もうすこし工夫の余地はありそうである。

安いという店で一軒、元町一丁目本通の元町ゴルフ店の西側露地を南へ入ったところにある空也（くうや）を紹介しておく。俳人、岸百柳の奥さんがしているが、タネは平均十円というところ。昼前から午後六時ごろまでの営業。あと一軒、神戸にして珍らしい店がある。市電大橋町五丁目停留所からすこし東へ歩いて、北へ入ったところにあるまる江という店で、この店のダシは塩味だけ。だから煮あがってもタネに色がかず、〆白い関東だきであるのが異色だ。につめるとかかくなるところ七十才をこえる老夫婦が手加減でうまうまやっている。ダシをよごさないため、客に勝手に身をさわらせず、コロも入れないという用心深さである。ここもいたって安いのが、露天から身を起したこの老夫婦が倒れると、この店の跡目はないというから、さびしいことである。

クリスマスの贈モノが色々揃いました

工芸品

創作ハンドバック

アクセサリ

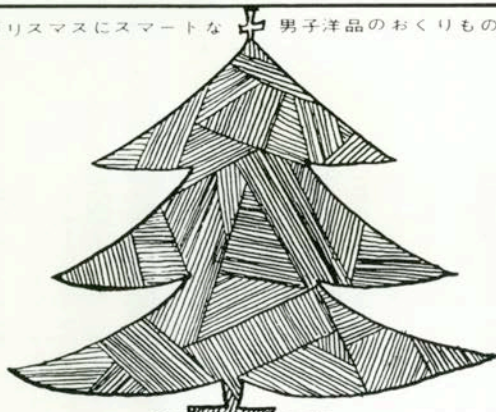
元町1 **イクシマヤ**
32415・2416

サンタが持ってきた楽しいおもちゃの贈物

元町2丁目 **キヨシマ屋** (3)3249



クリスマスにスマートな 男子洋品のおくりもの



男子洋品の店
神戸屋
元町2・TEL. 32589

お歳暮にイチバン

神戸名産 地方送り承ります
瓦せんべい

クリーム入 **ロールケーキ**

クリームベリタス



神戸三宮
トアロード

TEL. 31番2番3番 南店31616番

贈って喜ばれ
もらって重宝

菊秀の家庭用品

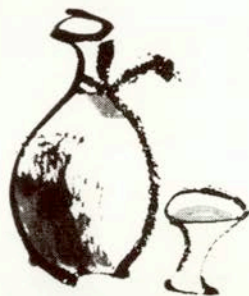
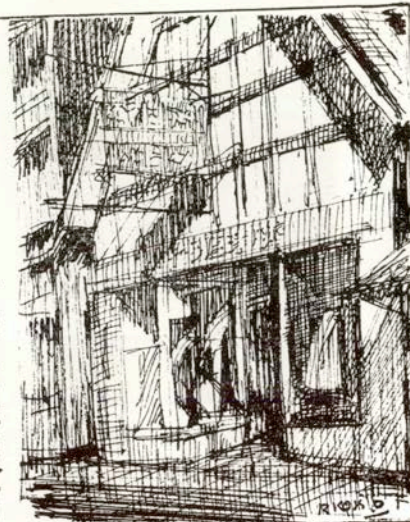
- 御料理庖丁
- 裁縫鉄
- 大工道具と工具
- SOLINGEN製鉄及びナイフ
- ステンレス食器
- 魔法瓶
- 錠及カーテンレール
- 石油ストーブ
- 世界の電気剃刀・安全剃刀

神戸・元町2丁目 山側
TEL KOBE (3)0276 (39)0892

素朴しいカット

十字屋洋服店

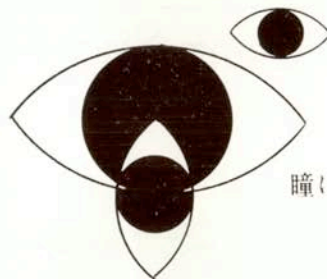
元町通5丁目
(4)0219・2936



贈りものに
絶対！
灘の生一本

清酒

大黒正宗



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL(22)8161・8361



お歳暮に贈って喜ばれる
風味豊かなカステラ！

<元町6丁目>

長崎堂本店

本店7—4402元町4—4130

神戸新聞会館秀品店・阪急



絹屋 化粧品店

西店・三宮柳筋③5778／本店・甲南本通⑥0250

YE AULD SHIRT SHOPPE



よろず御襯衣仕立處

神戸シャツ

神戸大丸前 TEL③2168



ハイセンスの紳士服で
最高のオシャレを

元町4丁目

三恵洋服店

TEL ④7290

新しいセンス、フランス調の
ヘヤースタイル

美容室

あきら

西野 明

御電話の御予約いたしております

三宮本通り TEL③4461・6458



高級紳士服専門店

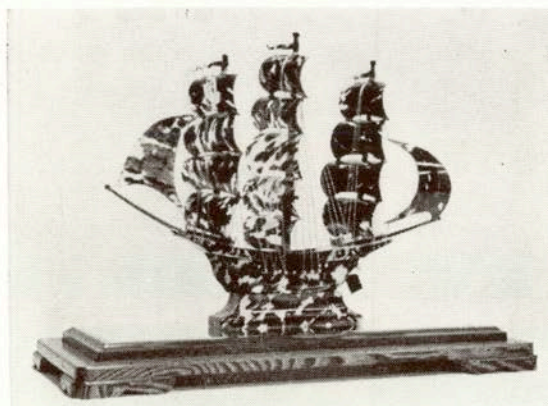
神戸テーラー

オーダーメード・イージー

オーダー・レディメード

生田区北長狭通2

(省線高架通60)③2817



センスあふれる

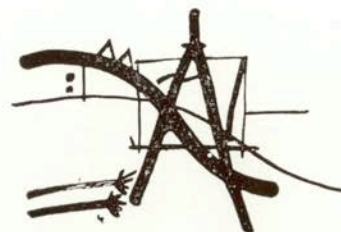
べつ甲の専門店

元町一丁目

太田鼈甲店

TEL ③ 6195

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード

③1309・6234

上京始末記

陳 舜 臣
え・松 本 宏

ショート・ショートの何たるかも心得ないで、おく面もなく連載をつづけること八回、最近は不安におのいつている。このあたりで、肅然と襟を正して、真面目に考えてみたい。

コントに非ず、普通の短篇小説に非ず、かといって川端康成氏の掌編小説とやらでもない。御大将の星新一氏にうかがうと、「ショート・ショートは悲鳴である」と謎のような回答であった。ぼくはオーヘンリーからサキにかけての系列に解釈していた。最近では、ダールの短いものにいい作品がある。日本でも開高健氏をはじめ、ダール気ちがい輩出して、神様のように拜んでいる。しかし、その話術が鼻もちならぬというヘソまがりもいて、ダールが諷刺されるたびに、「またも出た出た、西洋落語」と悪態をつくのだ。随喜の涙が罵詈雑言と同居するから、とかく複雑怪奇な世の中である。どうやら、鋭角的なオチが、ショート・ショートの醍醐味らしい。じっさい、ストンと痛烈におとされると、気持が いいものだ。

星新一氏の出現以来、ショート・ショートといえ、やたらにロケットやロボットが登場するものと思いいこんでいる人が多いのはどうだろう。SF系以外に、もっといろんなショート・ショートがあつていいはずである。たとえば、日本文学の主流である私小説はショート・シ

ョートにアレンジできないか？これは勇猛果敢な試論であるが、一応検討してもよいだろう。ただ実生活に、その気の利いたオチのあらうはずがないのが最大の難点と思える。

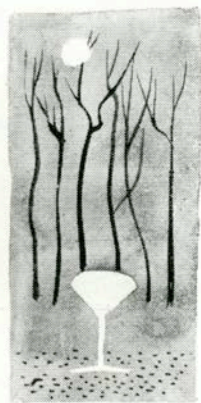
ぼくは主にミステリーを書いてきたし、これからも小説を書くなどおこがましい気持はない。ただテストとして、実際の話をショート・ショート風に書いてみようと思った。前書が長くなったが、あくまでテストだししかも後で述べるように、創作動機にいささか不純なものがまじっているのでザット読み流していただきたい。題して『上京始末記』

十一月九日、私は七時半神戸発第一富士で上京した。
薄曇りで肌寒い朝であった。

「レインコートぐらい持つて行きなさい」

妻にそう言われて、私はレインコートをたずさえて神戸駅へむかった。しかし、列車が東へ向うにつれて、空は晴れて行く。雪をいただいた富士がはっきりと見え、湘南の海も陽光をうけてキラキラ光っていた。午後二時半東京着。プラットホームの群衆に、上衣をぬいでいる姿も見られた。

「うまい工合に、寒くないんだな」まず有楽町の三信ビルのE社にS君を訪ねる。神戸から第一ホテルを予約



しようとしたら、満員だということわられた。顔のひろいS君ならなんとかしてくれるだろうと思ったのだ。が、第一ホテルの満員はウソではなかった。明日以後なら部屋があるという。とりあえず、今夜の宿が必要だ。銀座の東急ホテルに紹介してもらおう。こども満員に近いが、ダブルの部屋が一つだけ空いていたのである。

ベッドに枕が二つ、スリッパも二足、バスタオルも：なからなにも二つずつそろっている。そんな部屋に一人で泊るのは佻しいものだ。しかも一泊四千円である一風呂浴びて麻布へ急いだ。こんどの上京は年内に出版される三冊の本について、出版社とうち合わせをするほか「霧の会」との懇親会に出席する目的があった。会はその日の五時半、ブリジストン・クラブでひらかれる。

推理作家は一つの会をもっているが、人数が多いのでそのなかで数個のグループをつくっている。女流作家群は「霧の会」というのを組織している。私は「不在クラブ」に属している。不在とは、アリバイをもじった名称なのだ。その日の会合は、「霧の会」とわれわれ不在クラブの合同懇親会であった。

霧の会八人のうち五人までは顔見知りだった。芦屋の芦川澄子さんも二日まえから上京して、当日出席していた。初対面は曾野綾子、夏樹しのぶ、園田てる子の三女史である。乾杯にはじまって会は九時までつづいた。最後に、この夏、曾野さんの葉山の別荘でひらかれた霧の会例会の8ミリカラーを映写し、彼女らの水着姿を鑑賞した。写し出された当人が一人ずつその場で「キャッ」と悲鳴をあげるといふ伴奏までついて、大そうたのしかった。

会場を出たところが六本木である。われわれは音に名高い六本木の生感を視察しようとして、あたりをうろついていた。あるナイト・クラブにはいったら、ガラシとしている。広い所に誰もいないと、かえっておち着かない。ボーイにきくと、人が集まるのは十二時ごろからだという。まだ九時半である。

「やめとこ」われわれは六本木をあきらめて山王下に河岸をかえて、おそくまでのんだ。女性がいるので、話はいっぴくなく家庭的できわめて有益かつ上品であった。

翌日は土曜日だった。東急ホテルには、チェックアウトの午前十二時まで部屋を占領する権利がある、四千円を投じているので、できるだけホテルを利用してやれと思って、早川書房と中央公論社の人にきていただいた。うち合わせがすんでから、私は四千円の東急を出て、千八百円の第一ホテルへ移った。そこで桃源社の人に会い用件をすませた。

雨がそのころから降りだした。私はレインコートを思い出したが、部屋じゅうさがしてもみつからない。東急に忘れたかと思って電話をかけたが、なかった。三信ビルのE社に寄ったから、そこかもしれない。電話をかけたが誰もでてこない。土曜は半ドンなのだ。

「寶石」編集長の大坪氏と芦川さんが訪ねてきてくれたので、三人でお茶をのんだ。そのとき、昨夜六本木視察をはたせなかった話が出たら、大坪氏が胸をたたいて「ぼくが案内してあげよう」と言った。

夜の十一時出発と話が進んだ。「それまで眠っておきなさいよ」と大坪氏は忠告してくれたが、その晩は講談社の人と一杯のむ約束があった。それがすんでホテルに戻ったのが十時で一時間すると大坪氏がやってきた。

正直なところ六本木はちっとも面白くない。こちらの心構えがわるいからであろう。小説のタネにならないかと、さもしい考えでいるから、雰囲気がちを包まないのである。ツイストを踊ったり酒をのんでる連中は結構たのしそうである。

ホテルに帰ると、夜は明け始めていた。朝食をとってから眠った。目をさましたのが午後一時。私はハツととびおきた。日曜だが、この日私は、推理作家協会の会計担当の中島河太郎氏のところへ、基金三万円をおさめそれから鎌倉に先輩作家の鮎川哲也氏を訪ねる予定だった中島氏のお宅は、芦川さんの泊っている浅草の親戚のお

家の近くだから、私は彼女に道案内を頼んでいたのだ。

「おそいわね」芦川さんはおこっていた。起きるのもおそかったが、芦川さんの親戚の家を探すのにもヒマがかかったのである。

中島さんのところで、お酒のめない芦川さんは水をおみ、中島さんと私はビールをスイスイと飲んで、ミステリー談議に花が咲き、気がつくとき五時になっていた。あわてて、基金三万円を渡し、中島宅を辞した。

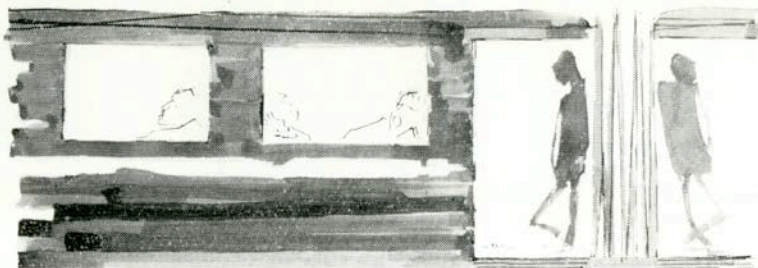
「もう鎌倉へは行かれへんわ」

あきれたように芦川さんは言った。鎌倉の道案内も彼女に頼んでいた。しかし、もう五時である。しかも彼女は、今夜の寝台券をすでに手配してあったのだ。

「鎌倉へは一人で行きなさい。鮎川さんにお会いしたらよろしく言うといて」

酒のみには愛想がつきたと言わんばかりに、彼女はさっさとひきあげたのである。

私は明日午後三時半東京発の第二富士の特急券を買っていた。明日は三時半まで、東京で友人に会ったり挨拶まわりをするつもりでいた。しか



し、これといった用件はないから、こんどは割愛して、明日は鎌倉行きにしよう。

時刻表をながめて、私は計画をたてた。

九時半起床。十時までに朝食。十時半までに入浴、身仕度、及び各所へ電話ホテルの勘定をすませて東京駅へ。

十一時三分、横須賀線に乗車。十一時五十九分鎌倉着。昼食をすませて鮎川邸へ。三時一分鎌倉発。三時二十七分大船着。大船で三時四六分の準急「長良」に乗る。「長良」は四時四十三分熱海に着く。

熱海着四時四十七分の第二富士をキャッチ。午後十時半には神戸へ戻る。

翌朝、大たい予定通りに進行するかにみえた。ところが三信ビルE社に電話をかけると、私のレインコートはないという返事だった。

そうだ、降りるとき、車内に忘れたのだ。私は東京駅の遺失物取扱所にかけつけた。はたして台帳に記入されていたが、期限切れですでに警視庁送りになったという「これをもって警視庁へ行って下さい」

係員が書類を渡してくれた。私のその日の行動は、ピッチリとスケージュールに組まれている。警視庁へ行くような時間はない。遺失物は半年ぐらい保管してくれるはずだ。つぎの東京の時、受取りに行けばよい。予定通り私は十一時三分の横須賀行に乗りこんだ。

道案内がないので電話で久能啓二氏を呼び出した。久能氏は本名を三山といつて、神戸の北野小学校、旧制甲南高校を経て東大美学科を卒業、現在鎌倉の国宝館に勤めながらミステリーを書いている。同じ不在クラブの間である。駅前で食事をしてから、鮎川邸へ案内してもらった。

予定表では鮎川邸に約二時間、つまり二時五十分までいてもよいことになっている。われわれはその時間まで出されたビールを懸命にのみながら、ミステリーの話をした。

あと予定通りである。三時二十七分に、私は大船駅のプラットホームに降り立った。ところが――「準急」長良が時間通りに来ないのだ。あわてて、私は駅員にたずねた。

「いまごろ、長良なんて車、ありませんぞ」

そう言われて、私は愕然とした。時刻表をひるげる。

準急長良は（十二月三日より二十日まで運転）とある。しまった、今日はまだ十一月十二日だ。この但し書を私は十一月三日から二十日と早合点したのである。連休だから、と勝手に考えたわけだ。

やけくそになって、つぎの純行列車に乗った。姫路行きである。三宮まで十三時間半もかかる。ガタガタの古い車体で坐席は堅い。平塚の手前で、嘲けるように第二富士が追い越して行った。疲れがいちどにドツと出た。

「ええい、熱海で一泊して、明朝の急行で帰ろう」

熱海で降りたが、私は一泊しなかった。一刻も早くなつかしの神戸へ帰へりたかったし、それに財布のなかが意外に軽いのを発見したからでもある。六本木でのみすぎたらしい。

温泉につかって疲れをとったあと、午後十時十分の広島行急行「第二宮島」に乗った。満員である。みんながちゃんと坐れば席があくのだが、岩国市農協組合の団体客のおっさんたちが、一人で二人分の坐席を占領して横になっている。一等も席がない。三時間近くもデッキに立っていると足が疲れてきた。

とにかく、坐れる車に乗りかえようというわけで、浜松で降り、つぎの急行「能登」を待った。これがガラガラに空いている。金沢行きだが、とにかく米原まで行こう。一步でも神戸へ近づけば気がやすまるのである。

米原着が、まだ夜も明けぬ四時四十四分。そこで降りて、五時十一分の神戸行きの電車を待つ。三宮に着いたのが、七時四十分だった。

家にたどりついて、やれやれである。

「レインコートは？」ときく妻に、黙って例の書類を

見せると、「またなの」と言っただけ。あまりおどろかない。しよっちゅうのことで、はや慣れてしまったのである。

特急券八百円をフイにしたのが、かえすがえすも残念でならない。これをタネになにか書いて取り戻してやろうと、さもないことを考えた。が、これではレインコート・レインコートにならない。レインコートを忘れたり、ねすごしたり、車をまちがえたり、自分の間抜けさ加減を披露するだけで、きめ手となるオチがない。

四日後、中島河太郎氏から葉書が届いた。それを読んで、私は熱海で財布が軽くなっていたことに思いあたったが、つぎの瞬間、ハタと膝をたたいて、ひとりごちた「これはオチになるかもしれない」

「なにをうれしがってるの？」妻はそう言って、葉書を取りあげた。読み終ると、彼女はため息をついて、

「あんたはどこまで抜けてるんでしょう」

と、あらためて感心してくれた。

中島氏の葉書の文面はつぎの通りである。

過日はわざわざ遠方の陋屋にお立寄り下さいましたのにも拘らず失礼致しました。無事御帰神のことと存じます。さて、その節、協会への基金はたしか三万円と申されたように覚えておりますが、あとで調べてみますとお預りしたのは四万円でした。一応手許においてございますが、三万円でしたら残金お届け致します。その折確かめてみれば宜しかったのですが。御手数乍ら御意向承りたく存じます。

（この項おわり）



花時計

放火魔

青木重雄

このところ、神戸市民はまだつかまらぬ放火魔に頭を痛めている。はじめは単独犯と思われていたが近ごろはあまりにも放火事件が続くために、犯人は何人ものいるのではないか、こういう推定が強くなってきている。どうせ犯人は変質者に相違ないが、まったく迷惑しごくな話だ。

おかげで今まで事故の多かった生田、兵庫、長田区あたりは、かつての戦時中の防空などの町内訓練もかくやとばかり、連夜各人交

替での警戒に当たっている。警戒のための費用負担もさまで、一戸当たり月五百円のところもあれば千円の地区もある。なかにはアルバイトの人をやとって警戒に当たらせているところもある始末とて、思いつくのは火災保険会社のことだ。これらの家の中には日ごろのお得意先も少なくなからう。まして火災が起これぬにこしたことはないはず。一つ「陣中慰問」にニギリメシや酒ぐらいを警戒班の人々に贈ってはどうですか。

(十一・十一)

読者サロン



◆十月廿二日付朝日新聞の「季節風」覧で雑誌「神戸っ子」のあることを知りうれしくなりました主人も私も神戸に生まれ、育ち生粋の神戸っ子です。勤めの関係上神戸を離れて暮していますが、一番知りたいたのが神戸のニュースです。月刊「神戸っ子」でその望みがかなえられそうでもうれしくなりました。最近号が手もとにとどくのが待ちどおしいです。

(熊本県水俣市・三木妙子)

◆私は神戸生まれの、神戸そだちですが、現在東京に出てきてデザイン勉強をやっております。うれしにつけ、悲しいにつけ故郷「コウベ」のことが思い出されますが、その「コウベ」のかおりをふんだんにたたよわせた貴誌「神戸っ子」を購読したいと思

います。以前にも二、三度貴誌を拝読いたしました。なかなかおもしろい本だと思っております。ぜひ定期購読の際の送金方法、送料等を至急おしらせ下さい。

(三重県津市・山口里津子)

☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆

◆拝復、神戸っ子この度、初めて拝見いたしました。なかなかの出来栄えに敬服の至りに存じます神戸が誇るものは前知事の阪本勝さん、市長の原口忠次郎さんの存在も神戸っ子の誇りと言えましよう。それに神戸っ子の名編集ぶり、徳島にはPR誌はありませんが九州の博多に行けば「ばってん」というなかなかのPR誌があります。参考までにおとけしますどうぞ今後ともすてきな編集をなさって下さい。

(徳島市・河野義太郎)

(川崎市・石津博一)

◆創刊号以来の愛読者ですが、毎号手にするたびに編集室のみなさま方の苦労がしのべれます。ごく身近かな私たちの仲間(?)の登場する「野のはな対談」たのしく拝見しています。次はどなたかしら?と待たれてなりません。表紙がずーと小磯先生とおききして神戸っ子の私は大喜びです。先生、「神戸っ子」のためにステキな絵をおねがいします。

(生田区・沢井喜代子)

◆神戸を離れて早や二十幾年、年と共に益々神戸が懐しくてなりません。朝日新聞紙上で貴誌の発刊を知り、是非愛読したいとのしみにしています。ご活躍を願っています。



クリスマス
デコレーションケーキ
フランス菓子の ドンクへ!!



三宮・センター街 電 ③ 1750

山手店・芦屋店・サンドウィッチパーラー
そごう店・大丸店・姫路店・大阪店

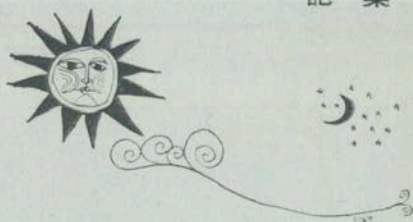


④ 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④ 0693

大阪・高麗橋二丁目 ② 2106

神山若森百宮宮松古福中直永田田滝塩白阪古後久小小木嘉川金大小岡岡牛榎石青安
戸
青口杉崎崎地崎井川富西木井中村川崎川本林藤保林磯下納西井淵根部崎尾並野木部
年
会泰了辰襄辰高虎芳太達健孝勝二喜末甚芳良正元ツ真伊真吉正成重正
議一
所弘慧三雄二雄男夫美勝郎七郎介二郎渥勝楽二郎夫平繁治英彦ム造子一朗一明雄天



☆はい、よくクリスマス、夜空の星のきらめきが美しかったです。今年の日本のビッグニュースの一つ、「マーメイド号太平洋をわたる」その主人公、堀江健一君を迎え、話をまとめました。この海への英雄も神戸の海の女王に迎えられ結構てれていました。

☆病気で執筆をストップされていた赤尾兜子氏が元気に編集室にあらわれ、もう大丈夫と、「神戸うまいもの巡礼」の再開です。乞々期待！

☆「すてきなお嬢さんこんにちわ」今月は、スケートのオリンピック選手の上野純子さんでした。この企画はいまや神戸では話のたねになっているようです。お見逃しなく、上野選手のご活躍を祈ります。

☆元町通も一、二丁目に豪華なアーケードが完成、神戸っ子の話題をあつめています。クリスマスからお歳暮のショッピングムードも高まり、ユニークな神戸の店で楽しく、ハイスセンスのお買物を……

☆かくして、多彩だった1962年の幕がおります。
どうぞ神戸っ子の皆様も暖かく楽しいクリスマス歳末をお過ごし下さい。そしてアデュー1962年。

(小泉)

☆月刊「神戸っ子」を毎月ご購読下さいます方、神戸を離れていらっしゃるお友達にプレゼントなさりたい方は編集室宛にお申込下さい。

6ヶ月分・5000円（送料共）
1ヶ年分 10000円

☆ 誌上紹介の各神戸の銘店には、お客様へのサービス品として「神戸っ子」がおかれています。

☆「神戸っ子」をお求めのさいは
左記の本屋さんでどうぞ。

海文堂・元町3丁目

宝文館・元町5丁目

漢口堂·京町筋角

日東館・大丸前

大丸書籍部・神戸大丸店

流泉書房・セ・夕・街

文洋堂・國際金魚
合日書店・大王筋商店街

各日書店、大正館、雨屋、

お問合せの際は「神戸つ

廣告による旨お書き添え下

「戸つ子」に広告掲載御希望

「神戸っ子」営業部宛御

「さいます様お願ひいたします
月刊「神云」子一編集寄

月十一日

月刊「神戸っ子」
No. 21

卷下
S
37
•
2 M
•
1

編纂・発行／小泉康夫

編輯・發行／小泉博夫

月刊「神戸」編集室

市葺合区御幸通8丁目9ノ1

國際會館一階

TEL 7037・頒価70円

ボーナスプラン

ママへのおみやげは

住友貸付信託

元金保証で最高利回り

年7分3厘7毛(5年もの予想配当)

大切なボーナスです。いろいろなお買い物はともかく、将来の家計プランには、ぜひ住友貸付信託を——有利にふやして、確実にのこす最高のボーナスプランです。

住友貸付信託は

- 1口1万円 元金は法律により住友信託銀行が保証していますから絶対安全
- 配当は預貯金中最高、複利にすれば5年後の平均利回りは年8分6厘6毛にもなります
- 1年たてばご必要なとき換金もできます
- 貯蓄組合扱いにすれば 50万円まで無税です
- 郵便局から振替でも申し込めます



住友信託銀行

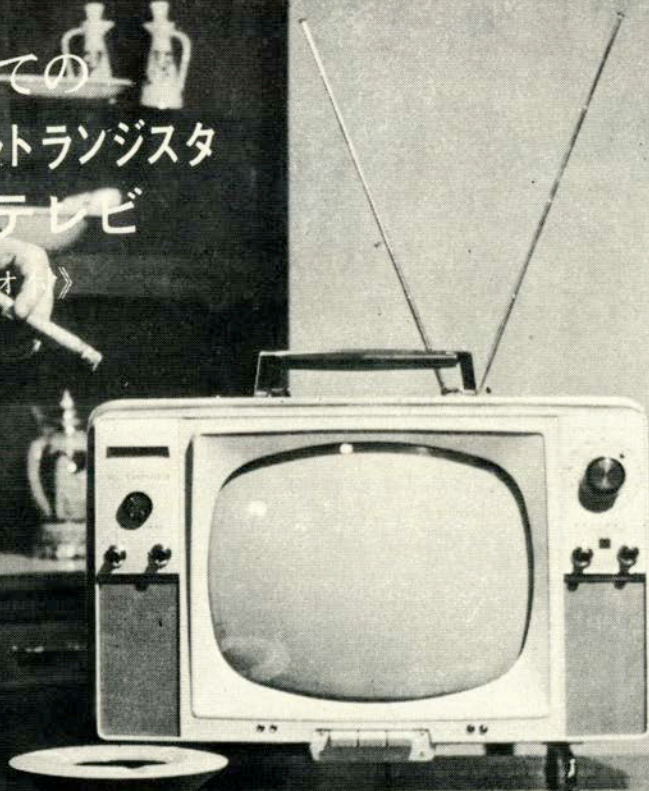
神戸支店

神戸市生田区元町1丁目電停前

電話 (3) 6101 ~ 5

世界で初めての 14形110度オールトランジスタ ポータブルテレビ

《2スピーカー付》



《新発売》 TRANSISTOR TV 〈ラジオ付 2スピーカー〉

14形オールトランジスタ
ポータブルテレビ
P14-T4

現金正価 85,000 円
月賦定価 89,000 円

(ラジオ・ロッドアンテナ・イヤホン付)

○世界で初めてノ
ナショナルのエレクトロ
ニクスが、みごとに完成
した半導体技術の粋。活
力いっぱいいつでも
働きます。

○鮮明な映像ノ
14形で2スピーカ・トッ
プの鮮明画面。
迫力あるハイファイ音の
すばらしさ。

○スマートさノ
日本で初めてのプラスチ
ックキャビネットのワイ
ド・スタイル超薄形ポー
タブル。

○ラジオも聞けるノ
ポンとひとおしすれば、
ラジオが楽しめます。